

住み慣れた地域で暮らし続けるための

支え合い活動や生きがい仕事、生活支援サービス事業の

立ち上げ支援講座

どなたでも受講いただけます。

全講座
受講無料※第 2 段階の宿泊費・交流会費は、
実費をご負担いただきます。福島県
二本松会場

馴染みのある人たちとともに暮らし続けるために、見守りやサロンなどの「支え合い活動」や、有償の支援サービスや介護保険のサービス、お店や移動販売などの「生活支援サービス事業」を立ち上げ、住民が主役の地域コミュニティづくりの支援を目的に開催します。

講座開催のしくみ・スケジュール

第 1 段階

(日帰り) | 各回とも 13:00 ~ 16:30

※第 1 段階では、ご希望の開催回を、複数受講いただくことができます。
仙台、石巻、釜石会場でも開催します。情報をご希望の方は事務局にご連絡ください。

- 日々の暮らしのなかで、隣近所などの地域の人を気遣ったり、気の合う仲間と「集いの場」などの支え合いの活動を始めたり、自治会や町内会などの住民組織が自ら地域に必要な事業に取り組んだり、地域で繰り広げられる活動や事業には、さまざまな入り口と発展のカタチがあります。
- 関心はあるが一歩が踏み出せない、活動をどう始めたらよいかヒントを得たい、事業化の方法を知りたいという方々を対象に、全国各地の実践報告とその解説から、地域のなかで人と人がつながり合う活動と事業の実際を学ぶとともに、次なる一歩を踏み出すきっかけとすることを目的とします。

実践報告

コーディネーター

会場/定員

1 回目 9/28 (日)

下矢部西部地区社会福祉協議会 (熊本県山都町)
会長 津川 則光東北福祉大学 教授
高橋 誠一
仙台白百合女子大学 教授
大坂 純二本松市市民交流センター・
多目的室 / 150 人

2 回目 10/11 (土)

ボランティアグループ沖代すめ
住民型有償サービス 沖代どんぐりサービス (大分県中津市)
代表 吉田 日出子東北福祉大学 教授
高橋 誠一福島県男女共生センター・
研修ホール / 250 人

3 回目 10/26 (日)

農村交流施設・森の巣箱 (高知県津野町)
施設長 大崎 登仙台白百合女子大学 教授
大坂 純二本松市市民交流センター・
多目的室 / 150 人

第 2 段階

(1泊2日)

1 日目 / 13:00 ~ 17:30 ナイトセッション 19:00 ~ 20:00

※交流会 20:00 ~ 自由参加 2 日目 / 9:00 ~ 15:00

- 第 1 段階を受講された方で、活動や事業を立ち上げたい方を対象に、地域の課題のを見つけ方や解決方法、活動や事業の立ち上げ方などを、グループワークをとおして学びます。全国各地で実践する人たちの体験談やアドバイスを受けて、それぞれの「思い」をカタチにしていくことを目指します。各会場 30 人の定員です。第 1 段階を 1 回以上受講された方が対象となります。

H26.12/20 (土) ~

12/21 (日)

つどい場さくらちゃん (兵庫県西宮市)
代表 丸尾 多重子地域生活支援オレンジねっと (宮城県仙台市泉区)
代表 荒川 陽子やねだん [柳谷町内会] (鹿児島県鹿屋市)
町内会長 豊重 哲郎お互いさまねっと公田町団地 (神奈川県横浜市栄区)
専務理事 有友 フユミ神戸学院大学 教授
藤井 博志東北福祉大学 教授
高橋 誠一仙台白百合女子大学 教授
大坂 純福島県男女共生
センター
/ 先着 30 人

第 3 段階

(日帰り)

10:30 ~ 16:00

- 第 2 段階をもとに、活動や事業を立ち上げる際に役立つ知識を学びます。事業計画書の書き方、各種制度情報などを学びます。30 人の定員です。第 1 段階と第 2 段階を受講された方が対象となります。

H27.2/1 (日)

(調整中)

東北福祉大学 教授
高橋 誠一仙台白百合女子大学 教授
大坂 純会場は決定次第、お知らせいたします。
先着 30 人

第 3 段階修了後

- 講座受講者のネットワークづくりと集いの機会をサポートします。
- 平成 27 年度以降、フォローアップ講座の開催やアドバイザーの派遣、情報提供を予定しています

主催 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター

後援

岩手県、宮城県、福島県、釜石市、仙台市、石巻市、二本松市、浪江町、
岩手県社会福祉協議会、宮城県社会福祉協議会、福島県社会福祉協議会、釜石市社会福祉協議会、仙台市社会福祉協議会、
石巻市社会福祉協議会、二本松市社会福祉協議会、浪江町社会福祉協議会、宮城県サポートセンター支援事務所

受講申込書



FAX 022-727-8737

住み慣れた地域で暮らし続けるための支え合い活動や生きがい仕事、生活支援サービス事業の立ち上げ支援講座

フリガナ 氏 名				性別	男 ・ 女
住 所	〒 自宅 職場				
電話番号		FAX			
メールアドレス					
所 属		職名			
現在の活動、 ご希望など	取り組みたいこと、または関心のあることを簡単にお知らせください。 現在活動されている方は、内容を簡単にお知らせください。				

受講を希望される講座の会場と
開催回を○で囲んでください。複数受講可

※第1段階を1回以上受講された方で、
第2段階と第3段階の両方を受講できる方がお申し込みいただけます。
ご希望の会場と必要事項を○で囲んでください。

第1段階	1 回目 (9/28)	2 回目 (10/11)	3 回目 (10/26)
------	----------------	-----------------	-----------------



第2段階	12/20 ~ 21	○宿泊の希望／あり・なし → 禁煙・喫煙 ○交流会の希望／あり・なし ※宿泊費 (8,000 円前後)、交流会費 (4,000 円前後) は実費をご負担いただきます。
第3段階	H27.2/1	※会場が確定次第、受講者にお知らせいたします。

【受講締切】

受講を希望される第1段階の講座の開催日10日前まで

※1回目は9/23まで

申込書による FAX、または電話、ホームページからお申し込みください。

受講申込書を受け付け後、土日祝日を除き3日以内に受信確認の FAX をいたします。
会場の住所等は、受講決定のご案内でご連絡いたします。

● 報告事例紹介 ●

しもや べ さいぶ

下矢部西部地区社会福祉協議会
(熊本県山都町)

山間部にある下矢部西部地区の高齢化率は、40%を超える。地区の社会福祉協議会が中心となって、廃校を交流と支え合いの拠点に、災害時に備えた宿泊体験や、生きがい健康づくり推進事業に取り組むほか、移動スーパーと連携した「移動（井戸）端会議」など、ユニークな実践を行っている。近年は拠点を小規模多機能ホーム「絆」と命名し、総合的な地域の支え合い拠点を展開しようと試行錯誤している。

つどい場さくらちゃん
(兵庫県西宮市)

父母・兄の介護を10年間続けたのち、本人・介護者・介護職・医療者・行政・社協・議員・大学・学生・地域活動者・子ども・子育て中のママ…誰もが集える場・しゃべれる場・泣ける場・笑える場・食べる場・学べる場・ともに出かける場・生きる場として、つどい場を開く。

お互いさまねっと公田町団地
(神奈川県横浜市長区)

団地住民によって発足した「お互いさまねっと公田町団地」は、団地内で空き店舗となったスペースを借り、食堂などのサロン活動や見守り支援活動を行っている。各種機関との連携とともに、「困ったときはお互いさま」の精神で孤立予防につながる生活支援を続けている。

おきだい

ボランティアグループ沖代すずめ
住民型有償サービス どんぐりサービス
(大分県中津市)

地域の住民と専門機関をゆるやかにつなぐ。小学校区を活動エリアとするボランティアグループ「沖代すずめ」は、給食サービス、高齢者のサロン、家事援助を中心とした有償サービスなど、地域にとって必要なサービスを創出し続けている。柔軟な活動が特徴で、校区内外の団体・事業所などと垣根をつくらずネットワークを広げている。

地域生活支援オレンジねっと
(宮城県仙台市泉区)

「地域の人々で互いに困った時は助け合い、支え合っていこう」と活動している市民団体。「腰が痛いので掃除や買い物を手伝ってほしい」など、いろいろな相談を受けて活動している。地域情報誌の発行や、ふれあいサロン活動、多彩な講座も開催。「誰でも立ち寄れる地域のお茶のみサロンと手づくりショップ」になっている。

農村交流施設・森の巣箱
(高知県津野町)

農村交流施設「森の巣箱」は、廃校となった床鍋小中学校を、住民による100回を超える協議を通じて、ともに暮らす住民にとって使いやすく、災害時にも安心・安全が確保できる集落の拠点施設に変化させた取り組みである。また、集落内の住民によってユニークな高齢者の生きがいづくりの実践や、集落全体の合意を基盤とする見守り活動にも主体的に取り組んでいる。

やねだん【柳谷町内会】
(鹿児島県鹿屋市)

通称「やねだん」と言われている柳谷集落。目指したのは「行政に頼らない地域再生」。土着菌を使った土づくりやオリジナル焼酎づくりなど、独自の商品開発で自主財源を増やし、住民の工夫で福祉や教育も充実させている。集落全戸にボーナスを出したことで有名。今話題の空き家対策や人口減少からの脱却でも注目されている。

主な講師

高橋 誠一 (たかはし・せいいち) 東北福祉大学 総合福祉学部 教授

北海道大学大学院経済学研究科博士課程を経て、同大学助手。宅老所、グループホーム、ユニットケア、小規模多機能型居宅介護などの小規模ケアを研究するなかで、認知症介護やターミナルケアに関心をもつ。

大坂 純 (おおさか・じゅん) 仙台白百合女子大学 人間学部 教授

日本社会事業学校研究科を卒業後、仙台市立病院で医療ソーシャルワーカーとして勤務。現在、社会福祉法人ありのまま舎理事長として、理念の「地域の中で障がいを持っていても、一人の自立した人間として生活」の実現を目指し活動中。



特定非営利活動法人

全国コミュニティライフサポートセンター

(担当: 橋本・堀切)

宮城県仙台市青葉区木町 16-30 シンエイ木町ビル1階

●電話からもお申し込みいただけます。

TEL : 022-727-8730

●CLCのホームページからも申し込みができます。

http://www.clc-japan.com